

プレゼミナールの進め方

1. テキスト

必要に応じて、プリントを配付。教科書として、特に購入する必要はなし。

2. スケジュールと課題

04月20日 第1回目

今後のスケジュールの説明，これからの学生生活に期待すること，大学で学ぶことの意味

①これからの学生生活でやってみたいこと，期待することを共有してみましょう。

②大学で身につけたいことは何か，それを身につけるためにはどんなことをすればよいか，を共有してみましょう

【この日の授業のための準備】

・特に準備は必要ありません。

【注意】04月27日 第2回キャリア形成論（PROG テスト受験）

・小ホールに集合してください。

※05月04日は祝日のため講義はありません。

05月11日 第2回目

大学と実社会，大学の授業スタイル

①大学の「学修」と高校までの「学習」の内容や方法，授業や講義のスタイルの違いを考えてみましょう。

→高校までの「学習」内容や授業スタイルはどのようなものであったか？

→大学での「学修」内容，授業や講義のスタイルはどのようなものか？（今後，どのようなものが実施されると想像されるか？）

②大学でのノートの取り方を考えてみましょう。

→どんなふうにノートを作成すればよいか？

→より理解を深めるためには，どのように大学の講義を受ければよいか？

③10年後，20年後，30年後の自分の姿を考えてみましょう。

【この日の授業のための準備】

・①～③について事前に考えておく。

- ・自分のノートをいくつか持参する。高校や予備校（塾）のノートでも結構です。

【配付物】

- ・「将来の進路（行き先）」、「ノートの取り方、講義を受けるために」に関する資料に関する資料
- ・「テーマの選び方」（05月25日に利用）に関する資料
- ・「図書館利用方法とインターネットの利用」（05月18日までに目を通しておく）に関する資料

05月18日 第3回目

図書館ガイダンス，国際教育交流センターガイダンス

- ・図書館入り口に集合してください。

05月25日 第4回目

1ヶ月半の学生生活を振り返って，学修テーマを決定する

①1ヶ月半の学生生活を振り返ってみましょう。

→得られたものは？今後，得られそうなものは？（反省ではなく「振り返り」，今後に活かすことを考えましょう）

②これからの4週間でレポート作成に取り組もうとする学修テーマ候補から，実際に取り組む学修テーマを決定する。→学修テーマに沿って各自でレポートを作成してみましょう。

目標：感想文（自分が思ったことを述べる）からレポート（相手が納得できるように説明する，「なぜ」を説明する）へ

【この日の授業のための準備】

- ・05月11日に配付した学修テーマの選び方に関する資料を参考にして，最低3つは自分で取り組んでみたいと思うテーマ候補を考えておく。
- ・それぞれのテーマ候補について，どうして（なぜ）そのようなテーマ候補を選んだのか，も1人5分程度の持ち時間で発表（説明）できるように準備する。
- ・A4版1～2枚程度の配付資料を，各自で**6部**（学生5人＋辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】

- ・「レポートの書き方」に関する資料

06月01日 第5回目

レポート作成のための素材を集める

①05月25日に決めた学修テーマでは，具体的にどんなことをどんな方法で調べて内容を深めていくのか，どのようにして素材を集めるか，を1人10分程度の持ち時間で発表（説明）しましょう。

【この日の授業のための準備】

- ・学修テーマに沿って、実際に調べる方法を考えて、発表する。どこで（何で）調べるのか、を考える。その際、できるだけインターネットのホームページは使用せずに、できるだけ本（書籍）を読む癖をつけたい。
- ・調べてみた内容についても、少しでもよいので、あわせて発表する。
- ・A4版1～2枚程度の配付資料を、各自で6部（学生5人+辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】 特になし

06月08日 第6回目

レポートの章立てや構成、内容案を考える

- ①どんな章立てにしてレポートを作成するのか、レポートの第一案を考えて、それをもとに1人10分程度の持ち時間で内容を説明しましょう。

【この日の授業のための準備】

- ・05月25日に配付されたレポートの書き方に関する資料を参考にして、レポートの章立てや構成、内容の案を作成する。その際、06月01日に出された他の受講生からの意見や助言を参考にする。
- ・レポートはできるだけワープロで作成の方が望ましい。作成するレポートの枚数や形式は、特に指定はしない。各自で自由に決める。
- ・発表の際には、レポート第一案を、各自で6部（学生5人+辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】

- ・「プレゼンテーションの方法」に関する資料

06月15日 第7回目

レポートを提出して、発表する

- ①レポートの内容を1人10分程度の持ち時間で発表しましょう。
- ②発表では、できればパワーポイントなどのソフトも使ってみましょう。
- ③採点表を使って、他の人の発表について評価してみましょう。

【この日の授業のための準備】

- ・06月08日に出された他の受講生からの意見や助言を参考にして、最終レポートを作成する。レポートはできるだけワープロで作成の方が望ましい。枚数や形式などは、特に指定はしない。各自で自由に決める。

→最終レポートの本体は、辻原のみに提出すればよい。

- ・06月08日に配布されたプレゼンテーションに関する資料を参考にして、発表を準備する。
- ・発表の際には、レポート本体とは別に発表用配付資料（A4版1～2枚程度）を、各自で6部

（学生5人＋辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】特になし

3. 参考図書（順に，書名，編著者名，発行所，発行年月，本体価格，ISBN番号，熊本県立大学図書館所蔵情報（〔〕内）。）

[1]『**大学生入門 3訂版**』（高橋三郎・新田光子，世界思想社，2009年3月，1,300円＋税，ISBN：978-4-7907-1394-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000323285〕〔電子ブック，5000000197〕
→初版（2001年6月，ISBN：978-4-7907-0881-0）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000249269〕，
改訂版（2006年2月，ISBN：978-4-7907-1167-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000300324〕
もあり。

※以下の参考図書でもよいかもしいない。

・『**大学新入生ハンドブック**』（世界思想社編集部編，世界思想社，2014年11月，520円＋税，ISBN：978-4-7907-1641-9）〔和書（2F），377.9||Se 22, 0000364024〕〔電子ブック，5000000195〕

[2]『**スタディスキルズ・トレーニング 改訂版 大学で学ぶための25のスキル**』（吉原恵子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠，実教出版，2017年10月，1,200円＋税，ISBN：978-4-407-34061-7）〔和書（2F），377.15||Y 87, 0000379748〕

→初版（2011年6月，ISBN：978-4-407-32243-9）〔和書（2F），377.15||Y 87, 0000342518〕

[3]『**アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第4版 AI時代の知的技法入門**』（佐藤望編著，湯川武・横山千晶・近藤明彦，慶應義塾大学出版会，2026年1月，1,200円＋税，ISBN：978-4-7664-3087-5）〔所蔵なし〕

→同じ出版社で，同じ「アカデミック・スキルズ」シリーズにいろいろな分野の本がある

→第3版（2020年2月，ISBN：978-4-7664-2656-4）〔就活・レポート（1F），377.15||Sa 85, 0000386409〕〔電子ブック，5000000089〕，第2版（2012年9月，ISBN：978-4-7664-1960-3）〔和書（2F），377.15||Sa 85, 0000352556〕，初版（2006年10月，ISBN：4-7664-1324-5）〔書庫（4F），377.15||Sa 85, 0000304262〕

[4]『**大学生 学びのハンドブック 勉強法がよくわかる！ 6訂版**』（世界思想社編集部編，世界思想社，2024年3月，1,200円＋税，ISBN：978-4-7907-1791-1）〔就活・レポート（1F），377.15||Se 22, 0000400213〕

→5訂版（2021年2月，ISBN：978-4-7907-1749-2）〔和書（2F），377.15||Se 22, 0000390348〕
〔電子ブック，5000000201〕，4訂版（2018年1月，ISBN：978-4-7907-1707-2）〔和書（2F），377.15||Se 22, 0000378893〕，3訂版，改訂版，初版もあり

4. 担当者

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）4階南西角

電話：096-383-2929（内線492）、096-321-6706（直通）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

※何かわからないことがあれば、e-mail、Canvas LMSで質問してください。

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線482（助手室）／内線475（田中研究室））

e-mail：okamototkm@pu-kumamoto.ac.jp